

令和4(2022)年度 資源評価調査状況報告書(新規拡大種)

ブロック：西海ブロック

ホソトビウオ

海域	東シナ海佐賀・長崎	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 浮魚資源部、長崎県総合水産試験場、佐賀県玄海水産振興センター
----	-----------	------	--

(1) 調査の概要

- ・水産資源研は、調査指針の作成および状況報告書の取りまとめを行った
- ・長崎県、佐賀県は生物情報収集調査を実施した

(2) データ収集状況

- ・長崎県では、標本漁協や魚市場における月別漁獲量データの整備、5～10月に漁獲された本種の精密測定、本種を含むトビウオ類の飛翔目視観察を実施した
- ・佐賀県では、標本漁協や魚市場における月別漁獲量データを整備した

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：九州北西岸では、春に産卵親魚群が日本海へ向けて北上し、秋に未成魚が南下することが知られている（一丸 2008）
- (2) 年齢・成長：情報収集中
- (3) 成熟・産卵：GSI（生殖腺発達指数＝生殖腺重量/体重×100）による各月の生殖腺の発達状況より、本種の産卵期は過去のデータから5～7月と推察される。産卵場は主に日本海側の沿岸域と考えられ、成熟年齢は1歳と推察される
- (4) 被捕食関係：情報収集中

(4) 備考

- ・来遊条件の影響も大きいと考えられる本種の場合、資源状態を判断するには情報が不足している
- ・トビウオ類の未成魚は3種（ツクシトビウオ、ホソトビ、ホソアオトビ）を区別せず流通するため、現在の標本漁協の漁獲量調査だけでは本種未成魚の漁獲量を把握するのが困難

引用文献

一丸俊雄（2008）九州北西部海域におけるトビウオ類の生活史と未成魚群の資源加入に関する研究. 長崎県水産試験場研究報告, **33**, 7-110.